

平成 年 月 日

個別 的 処 遇 計 画 (表) 少年院名

氏	男 女	決定家庭裁判所	家庭裁判所支部	入院事由	決定年月日	処遇勧告の内容
名	年 月 日生	少年鑑別所	少年鑑別所	少年鑑別所の処遇指針		今後の処遇上有効と思われる事項を要約して記載する。

処遇上の留意点	上記処遇指針及びその他の資料から、本人の問題点を明確にするとともに、それから派生して処遇上の妨げとなったり、指導上困難が予想される事項を記載する。					
---------	---	--	--	--	--	--

個人別教育目標	上記の問題点を踏まえ、入院までに達成させたい重点目標を設定する（一つに限定しない。）。					
---------	---	--	--	--	--	--

教育過程	(新 入 時 教・育)		(中 間 期 教 育)		(出 院 準 備 教 育)	
段 階 別	入院				出院	
到達目標	(修正又は変更)		(修正又は変更)		(修正又は変更)	
教育内容 及び 方 法	上記段階別到達目標を達成するために、どのような内容の教育を展開すべきか、そのため具体的にどのような方法をとるのか（例えば、技法及びその期間）を具体的に記載すること。ただし、院内行事等、全員が参加して行うものは記載を要しない。 (例) ・ 学力を付与するため、中学程度の国語、数学等を毎日1時間義務づける。 ・ 非行の反省文を作成させ、これに基づいて内省を行わせる。 (修正又は変更)		(例) ・ カウンセリング ・ チームプレーを主とした体育 ・ 小集団による集会 (修正又は変更)		(例) ・ 老人ホーム等への奉仕作業 ・ 院外委嘱職業指導 (修正又は変更)	